

牛久：学校周辺に見る自然

第24号 みずべ公園（ひたち野うしく小）、牛久二小

2020年2月11日発行

＜ 冬のみずべ公園 ～②ヨコヅナサシガメ幼虫の集団越冬＞

2月4、6日の、ひたち野うしく小4年生とのみずべ公園。今回は、これまで何度も登場していますが、ヨコヅナサシガメ幼虫の集団越冬です。



アカメヤナギの名札のうらで、ヨコヅナサシガメの幼虫が集団越冬していた。気温8℃の4日には少しばらけていたが（左）、もっと寒い日にはびっしりとかたまっていた（右）。

秋になると幹のくぼみや樹木名札のうらなどに集まり始め、冬にはびっしりとかたまりじっとしています。一匹では寒いので、集団でかたまるのでしょう。今回はアカメヤナギとクヌギの樹木名札のうらと、ヤマザクラの幹のくぼみで見つかりました。1月15日（4℃）、牛久二小4年生との校庭観察でも、桜の幹のくぼみ3カ所で見つかりました。これも何度も話していることですが、ヨコヅナサシガメは桜の葉などを食べる害虫を食べてくれる、樹木にとってはありがたい虫なのです。ただし、針のような口先で刺されるととても痛いそうですから、素手でつかんだりしないように気をつけて下さい。【理科支援員：宮内】



牛久二小の桜でも集団越冬していた（左：1/15、4℃）。秋のみずべ公園では、アオマツムシを食べていた（右：10/31）。